

仮想アース Crystal Ep-G の導入(3)(HP 収載)

—Sonica DAC のアースポイント—

1. 始めに

前報(2)では、Crystal EpY-G を EMT981 に使用しましたが、今回は Sonica DAC に使用してみます。

2. Crystal EpY-G の試聴計画

適用箇所の候補としては、すでに Crystal EpY を使用している箇所への置き換えとして、すでに Crystal EpY を使用している Sonica DAC に使用してみます。

試聴する音源は下記のとおりです。

STAGE+

ベートーヴェン ピアノソナタ 30 番 31 番 32 番

マウリツィオ・ポリーニ (ピアノ)

バッハ 無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ

シュロモ・ミンツ(ヴァイオリン)

ベルリンフィルデジタルコンサートホール

フランツ・リスト ピアノ協奏曲 1 番

エフゲニー・キーシン (ピアノ)

3. Crystal EpY-G の試聴結果

まず、現状の Crystal EpY で聴いておき、Crystal EpY-G に付け替えて試聴していきます。

STAGE+のベートーヴェンのピアノソナタは、Crystal EpY でもポリーニの弾く Fabbrini の打鍵と余韻はリアルですが、Crystal EpY-G にしますと、より音の精度が上がり、少し残っていた強調感が解消して、より自然なライブ感になります。

STAGE+のバッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータは、Crystal EpY でも緊張感のあるバッハが聴けますが、Crystal EpY-G にしますと、音が澄んで、より細かいバッハの表現が分かるようになります。

ベルリンフィルデジタルコンサートホールのリストのピアノ協奏曲 1 番は、Crystal EpY でも、スタンウェイの響きがリアルですが、Crystal EpY-G にしますと、低音の沈みこみのホール内の残響やオーケストラの分離が向上します。

4. まとめ

Sonica DAC のアースポイントへの接続において、Crystal EpY-G は、Crystal EpY 以上の効果を示しました。

以上